



水道産業新聞社
大阪本社 電話(06)6373-3603
FAX(06)6373-3633
〒531-0072 大阪市北区豊崎2-7-9
東京本社 電話(03)6435-7644
FAX(03)3438-0025
〒106-0003 東京都港区西新橋 3-5-2

非開削3工法の受注拡大へ

全国非開削普及協議会 各種水処理技術の向上も

全国非開削普及協議会
(会長)岡本州雄・スピ
ーダーレンタル代表取締役
役)は8月26日、東京都
港区のメルパルク東京で
第13回定時総会を開き、
平成28年度事業計画・予
算を決めた。また、役員
選任を行い、岡本会長を
再任した。



岡本会長

岡本会長は27年度の活
動概況について「工法P
R活動で特に注力した道
路集水ます浸透化工法
『EGSM工法』は採用

都市が着実に増加傾向にあり、東京都杉並区、世田谷区、姫路市、岡崎市で本格採用され、今後の需要増加が大いに期待できると説明した。また、28年度の方針について「非開削技術の3工法である推進工法、EGSM工法、マンホール浮上防止工法『インナーウエイト工法』の受注拡大、各種水処理技術の向上に努めていく」と述べた。

28年度事業では、引き続き非開削工事や環境保全技術、EGSM工法のPR活動を全国的に展開する。特に関東・甲信越地区や関西・中国地区を重点地区としてPR活動に注力する。

また、27年度の活動報告では、インナーウエイト工法について、フロートレス工法、ハットリング工法、浸透ドレーン工法などのコラボレーションの動きが活発化しており、今後の需要拡大が期待できるとした。

総会後には、前日本推進技術協会専務理事の石川和秀・全国ヒューム管協会専務理事が「推進技術(業界)の次なる進化への途」をテーマに講演。石川専務理事は「日本の推進技術は世界でトップだが、下請け体質から脱却しなければ明日はない」と訴えた。